

## 提案を求める項目と評価項目・評価基準表

## 業務名：新合葬墓建設・里塚霊園管理事務所建替基本計画策定支援業務

実施委員審査項目（採点は「新合葬墓建設・里塚霊園管理事務所建替基本計画策定支援業務に係る企画競争実施委員会」の委員が行う）

提案を求める項目	望む業者像	評価項目	評価の視点	配点	係数	評価				
						特に優れている	優れている	普通	やや不十分	不十分
(1) 業務計画案 本業務に携わる業務従事者の実績、業務における調査・検討方法、業務執行体制及びスケジュール等を示すこと。また、そのような提案とした理由について記載すること。	◆早めのスケジュール設定や進捗管理ができる。 ◆経験豊富な担当者が窓口となり、的確な助言や様々なアイデアを提供できる。 ◆経験豊かなスタッフが配置されている。	(1) 業務従事者の実績、調査・検討方法、業務執行体制及びスケジュール	業務実施に当たって、業務従事者の経験・実績等の妥当性、有効性の観点から、業務全体を円滑に進められる執行体制やスケジュールとなっているか	5	1	5	4	3	2	1
(2) 新合葬墓建設基本計画の検討（機能面） 新築合葬墓が供用中に、納骨作業が近隣住宅や墓参者から見えないよう、植栽や上屋の設置などの工夫を提案すること。上屋を設置する場合は、カロートが満杯となった際に撤去・移設等が可能な方式で検討することとする。合計180㎡以上のカロート容量を備えた埋蔵施設を配置することとし、納骨の際の安全かつ効率的な作業環境に配慮するとともに、通年の納骨作業が可能な内容で提案すること（カロートは分割して設置することも可能）。また、同じ規模のカロートを2基（合計360㎡以上）増設可能な場所を確保できる配置とすること。 合葬墓の埋蔵が完了した後、維持管理が容易になるような形で整備する案を提示すること。なお、傾斜地に石碑や献花台を設ける場合は、墓参者に配慮してバリアフリー化すること。	◆近隣住民、墓参者、納骨作業者の全てに配慮した機能を有する新合葬墓の計画を提案できる。	(2) 納骨作業に配慮した建築物等の計画、埋蔵完了後の合葬墓の維持管理に配慮した再整備計画	・有用性：業務の目的を達成するにあたり、必要かつ効果的な提案となっているか ・具体性：提案に実現性はあるか ・専門性：高度な専門性・技術力等が見込めるか	30	6	5	4	3	2	1
(3) 新合葬墓建設基本計画の検討（デザイン面） 新合葬墓の墓参者に配慮し、石碑や献花台を設けることとし、そのデザインを提案すること。埋蔵中の合葬墓の納骨作業が見えないように設置する上屋等及び合葬墓への埋蔵完了後の整備についても、故人の尊厳や墓参者に配慮したデザインとすること。	◆近隣住民、墓参者、納骨作業者の全てに配慮したデザインを有する新合葬墓の計画を提案できる。	(3) 墓参者に配慮した建築物等のデザイン計画	(2)に同じ	20	4	5	4	3	2	1
(4) バリアフリー及び環境に配慮した霊園管理事務所基本計画の検討 新霊園管理事務所について、バリアフリーに配慮したエントランス、ロビー、受付窓口、トイレ、動線となるような案を提示すること。道産木材利用や省エネ（太陽光パネルの設置等含む）など環境に配慮した基本計画を提案すること。	◆霊園への来訪者の年齢層に配慮した基本計画を提案できる。	(4) バリアフリーに配慮した施設計画、環境に配慮した施設計画	(2)に同じ	30	6	5	4	3	2	1
(5) 業務内容に含まれない独自提案 業務仕様書に示す事項以外に付加できる事柄がある場合は、その理由を付して提案すること。	◆新合葬墓・新霊園管理事務所の施設整備について幅広い視点から検討を行える。	(5) 業務内容に含まれない事柄についての独自提案	(2)に同じ	15	3	5	4	3	2	1
合計（委員1人あたり）				100						